

# 令和6年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

令和6年5月10日

上場会社名 株式会社 日本一ソフトウェア  
 コード番号 3851 URL <https://www.nippon1.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長  
 定時株主総会開催予定日 令和6年6月27日  
 有価証券報告書提出予定日 令和6年6月28日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

(氏名) 世古哲久  
 (氏名) 猿橋健蔵  
 TEL 058-371-7275  
 配当支払開始予定日 令和6年6月28日

(百万円未満切捨て)

## 1. 令和6年3月期の連結業績(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
6年3月期	5,339	10.5	401	46.2	842	10.5	593	11.8
5年3月期	4,833	15.4	745	52.4	941	44.3	672	47.2

(注) 包括利益 6年3月期 1,166百万円 (37.2%) 5年3月期 849百万円 (45.7%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
6年3月期	117.73	117.54	8.0	8.3	7.5
5年3月期	133.50	133.16	10.5	10.7	15.4

(参考) 持分法投資損益 6年3月期 百万円 5年3月期 百万円

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
6年3月期	10,818	8,084	73.6	1,578.66
5年3月期	9,379	6,948	72.7	1,352.33

(参考) 自己資本 6年3月期 7,957百万円 5年3月期 6,816百万円

### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
6年3月期	794	1,043	78	4,603
5年3月期	50	1,015	269	4,353

## 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
5年3月期		0.00		5.00	5.00	25	3.7	0.4
6年3月期		0.00		5.00	5.00	25	4.2	0.3
7年3月期(予想)		0.00		5.00	5.00			

## 3. 令和7年3月期の連結業績予想(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

令和7年3月期の連結業績予想につきましては、未定いたしました。詳細については、添付資料P.4「1. 経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
 新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 以外の会計方針の変更 : 無  
 会計上の見積りの変更 : 無  
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	6年3月期	5,131,400 株	5年3月期	5,131,400 株
期末自己株式数	6年3月期	90,856 株	5年3月期	90,856 株
期中平均株式数	6年3月期	5,040,544 株	5年3月期	5,037,334 株

(参考)個別業績の概要

令和6年3月期の個別業績(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
6年3月期	1,518	9.8	87	61.0	451	10.8	340	6.2
5年3月期	1,683	16.2	225	55.7	505	31.5	363	32.6

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
6年3月期	67.59	67.49
5年3月期	72.11	71.92

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭	円 銭	
6年3月期	4,209	3,661	3,661	3,661	84.0	701.16	701.16	
5年3月期	3,844	3,360	3,360	3,360	84.0	640.57	640.57	

(参考) 自己資本 6年3月期 3,534百万円 5年3月期 3,228百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件については、添付資料P.4「1. 経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 連結貸借対照表 .....	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	7
連結損益計算書 .....	7
連結包括利益計算書 .....	8
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12
(セグメント情報等) .....	12
(1株当たり情報) .....	16
(重要な後発事象) .....	17
4. その他 .....	17
(1) 役員の異動 .....	17
(2) その他 .....	17

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における我が国の経済は、設備投資の見直しにより一部経済成長の可能性が示されているものの、物価の上昇が個人消費を圧迫しています。さらに、中国経済の不透明性や東ヨーロッパ及び中東地域の政治的な動きが、経済全体に多大な不確実性をもたらしています。これらの要素が絡み合い、我が国経済の前途には多くの課題が存在している状況です。

当社グループが所属するゲーム業界では、巣ごもり需要が一巡したことでゲームソフトの売上低下が不安視されていましたが、デジタル化の進展により販売地域が広がったことや旧作販売の伸長などの影響で、ゲームソフト販売を含むセグメントの売上は底堅く推移しております。その他にも、クラウドゲームサービスによるプラットフォームの多様化、成長市場として近年注目されているeスポーツ市場の拡大、VRデバイスの技術進化など、市場環境は変化し続けています。

当社グループは、このような経営環境の中、当社グループの商品やサービスを通じてゲームという分野に限らず年齢・性別・地域を超えたすべての人々に楽しさを提供し、その結果として当社グループと当社グループに関わるすべての人々が豊かになることを目指して成長してまいります。当社グループは永続的な発展を目指し、「開発力の強化」「販売力の強化」「生産性の向上」に取り組んでまいります。

このような状況の中、エンターテインメント事業におきましては、国内では全8タイトルのゲームソフトを発売いたしました。また、インターネット環境でゲームソフトを購入できるPlayStation Network、ニンテンドーeショップ、Steam等を通じたゲームソフト及びダウンロードコンテンツの販売や北米・欧州・アジア地域に向けた国内で発売されたタイトルのローカライズ及び販売等を行いました。

学生寮・その他事業におきましては、岐阜県内の大学学生寮の運営を行ってまいりました。

その結果、当連結会計年度の業績は、売上高5,339,967千円（前年同期比10.5%増）、営業利益401,335千円（同46.2%減）、経常利益842,007千円（同10.5%減）、親会社株主に帰属する当期純利益593,404千円（同11.8%減）となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりです。

#### (エンターテインメント事業)

パッケージタイトルとしましては、国内では『シカトリス』、『流行り神1・2・3パック』、『英雄伝説 零の軌跡：改』、『英雄伝説 碧の軌跡：改』、『役づくりパズル ゆめいろユラム』、『BAR ステラアビス』の合計6タイトルを発売いたしました。

その他につきましては、PlayStation Network、ニンテンドーeショップ、Steam等を通じたゲームソフト及びダウンロードコンテンツの販売や北米・欧州・アジア地域に向けた国内で発売されたタイトルのローカライズ及び販売を行いました。加えて、新規タイトルの開発及び関連商品のライセンスアウト、カードゲームショップ「プリニークラブ」の運営も引き続き行ってまいりました。

その結果、当事業全体におきましては、売上高5,254,645千円（同10.3%増）、営業利益930,780千円（同23.3%減）となりました。

#### (学生寮・その他事業)

学生寮・その他事業におきましては、学生支援を目的として岐阜県内の大学学生寮3件の運営を行ってまいりました。

その結果、当事業全体におきましては、売上高85,322千円（同20.6%増）、営業損失32,422千円（前年同期営業損失25,739千円）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末の総資産は10,818,220千円となり、前連結会計年度末に比べ1,438,592千円の増加となりました。

主な流動資産の増減は、現金及び預金の増加（前連結会計年度末に比べ1,006,467千円の増加）、仕掛品の減少（同59,060千円の減少）、前払費用の増加（同215,158千円の増加）によるものであります。

主な固定資産の増減は、建物及び構築物の増加（同165,874千円の増加）、土地の増加（同142,693千円の増加）によるものであります。

(負債)

当連結会計年度末の負債は2,733,786千円となり、同302,730千円の増加となりました。

主な流動負債の増減は、買掛金の減少（同57,846千円の減少）、短期借入金の減少（同117,210千円の減少）、未払法人税等の増加（同59,974千円の増加）、契約負債の増加（同128,230千円の増加）によるものであります。

主な固定負債の増減は、長期借入金の増加（同218,041千円の増加）、繰延税金負債の増加（同50,923千円の増加）によるものであります。

(純資産)

当連結会計年度末の純資産は、8,084,433千円となり、同1,135,861千円の増加となりました。

主な純資産の増減は、利益剰余金の増加（同568,201千円の増加）、その他有価証券評価差額金の増加（同33,272千円の増加）、為替換算調整勘定の増加（同539,327千円の増加）によるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は4,603,028千円となり、同249,417千円の増加となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は、794,384千円（前年同期は50,416千円の獲得）となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益846,948千円、減価償却費95,271千円、為替差益137,854千円、仕入債務の減少94,448千円、契約負債の増加120,543千円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、1,043,166千円（前年同期は1,015,062千円の使用）となりました。これは主に、定期預金の預入による支出722,000千円、有形固定資産の取得による支出403,849千円、投資有価証券の償還による収入112,600千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は、78,707千円（前年同期は269,017千円の獲得）となりました。これは主に、短期借入金の純減少額117,210千円、長期借入れによる収入262,690千円、長期借入金の返済による支出30,000千円、配当金の支払額25,286千円によるものであります。

当社グループのキャッシュ・フロー関連指標の推移は下記のとおりであります。

	令和3年3月期	令和4年3月期	令和5年3月期	令和6年3月期
自己資本比率 (%)	69.9	72.7	72.7	73.6
時価ベースの自己資本比率 (%)	93.3	89.3	61.9	49.6
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	0.2	0.6	21.0	1.5
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	758.4	294.7	7.6	98.3

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注1) いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

(注2) 株式時価総額は、自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

(注3) キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

(注4) 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち、利子を支払っている全ての負債を対象としております。

(4) 今後の見通し

当社グループが属するゲーム業界は、PlayStation4、PlayStation5及びNintendo Switchのソフトウェアの売上が堅調に推移しており、今後も市場の拡大が続いていくと予想されます。

当社といたしましては、引き続きコンシューマーゲームを主力商品として、さらなる新規IP（知的財産）の創出に注力いたします。令和7年3月期は、自社タイトル及び国内タイトルをローカライズし、北米・欧州を中心に販売展開を継続いたします。

また、過去IPの有効活用と、新規IPの商品価値と収益の最大化を目指し、国内での新規IPの開発及び発売、子会社と連携し北米・欧州・アジア地域やSteam等の新たなプラットフォームへ積極的に商品を展開してまいります。

上記の取り組み以外にも、他社コンテンツとのコラボレーション、トレーディングカードゲームショップ「プリニークラブ」の運営など、当社IPの価値、既存タイトルの認知度及び顧客満足度の向上を図り、収益の最大化を目指します。

当社グループは、強力なIPを作り出すことを重要な課題と考え、具体的な目標として国内販売本数20万本を掲げて新体制を構築中です。特に、グラフィック技術の向上、バグやゲーム性に対する品質の向上の取り組みを強くする方針であり、当社基準における品質を満たす商品開発を行い、中長期的に売上、付加価値の最大化を目指します。

前述の新体制構築を最優先で行うために、事業環境に応じて流動的に資金・資源の投入を行ってまいりますので、令和7年3月期以降の業績見通しにつきましては当面の間開示しないこととさせていただきます。

なお、令和7年3月期の業績見通しが算出できる状況になりましたら、適時に開示いたします。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

将来のIFRS適用に備え、必要な人材の育成、社内のマニュアルや指針等の整備を今後進めてまいる所存です。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和5年3月31日)	当連結会計年度 (令和6年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,353,611	5,360,078
売掛金及び契約資産	279,780	224,028
商品及び製品	183,763	223,908
仕掛品	509,796	450,736
前払費用	929,123	1,144,282
その他	277,401	170,565
貸倒引当金	△17,905	△20,134
流動資産合計	6,515,571	7,553,465
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	826,635	992,510
機械装置及び運搬具（純額）	9,591	5,674
土地	678,340	821,033
建設仮勘定	67,740	65,280
その他（純額）	74,387	81,392
有形固定資産合計	1,656,694	1,965,891
無形固定資産		
投資その他の資産	25,290	48,858
投資有価証券	1,127,670	1,174,331
その他	54,400	75,673
投資その他の資産合計	1,182,071	1,250,004
固定資産合計	2,864,056	3,264,754
資産合計	9,379,628	10,818,220

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和5年3月31日)	当連結会計年度 (令和6年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	258,850	201,003
短期借入金	372,210	255,000
1年内返済予定の長期借入金	29,780	42,205
未払金	131,813	98,481
未払法人税等	14,456	74,430
賞与引当金	116,869	118,020
契約負債	39,239	167,470
返金負債	406,130	426,739
その他	160,795	179,933
流動負債合計	1,530,145	1,563,284
固定負債		
長期借入金	658,586	876,628
退職給付に係る負債	62,646	69,018
繰延税金負債	140,762	191,686
その他	38,914	33,168
固定負債合計	900,909	1,170,501
負債合計	2,431,055	2,733,786
純資産の部		
株主資本		
資本金	557,444	557,444
資本剰余金	547,444	547,444
利益剰余金	5,176,467	5,744,669
自己株式	△56,349	△56,349
株主資本合計	6,225,006	6,793,207
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△89,605	△56,332
為替換算調整勘定	681,084	1,220,412
その他の包括利益累計額合計	591,479	1,164,079
新株予約権	132,086	127,146
純資産合計	6,948,572	8,084,433
負債純資産合計	9,379,628	10,818,220



(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 令和4年4月 1日 至 令和5年3月31日)	当連結会計年度 (自 令和5年4月 1日 至 令和6年3月31日)
売上高	4,833,806	5,339,967
売上原価	2,095,179	2,760,375
売上総利益	2,738,626	2,579,592
販売費及び一般管理費	1,993,092	2,178,256
営業利益	745,533	401,335
営業外収益		
受取利息	78,974	154,402
受取配当金	252	260
為替差益	122,431	290,067
その他	6,268	7,322
営業外収益合計	207,927	452,053
営業外費用		
支払利息	6,605	8,080
投資事業組合運用損	65	2,930
支払手数料	4,545	166
その他	1,080	203
営業外費用合計	12,296	11,381
経常利益	941,164	842,007
特別利益		
新株予約権戻入益	21,587	4,940
特別利益合計	21,587	4,940
税金等調整前当期純利益	962,751	846,948
法人税、住民税及び事業税	274,006	253,014
法人税等調整額	16,263	529
法人税等合計	290,269	253,544
当期純利益	672,481	593,404
親会社株主に帰属する当期純利益	672,481	593,404

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 令和4年4月 1日 至 令和5年3月31日)	当連結会計年度 (自 令和5年4月 1日 至 令和6年3月31日)
当期純利益	672,481	593,404
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△91,827	33,272
為替換算調整勘定	269,275	539,327
その他の包括利益合計	177,448	572,600
包括利益	849,930	1,166,004
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	849,930	1,166,004
非支配株主に係る包括利益	—	—

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度 (自 令和4年4月1日 至 令和5年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	551,900	541,900	4,529,140	△56,288	5,566,652
当期変動額					
新株の発行 (新株予約権の行使)	5,543	5,543			11,087
剰余金の配当			△25,154		△25,154
親会社株主に帰属する当期純利益			672,481		672,481
自己株式の取得				△60	△60
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	5,543	5,543	647,327	△60	658,353
当期末残高	557,444	547,444	5,176,467	△56,349	6,225,006

	その他の包括利益累計額			新株予約権	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	2,221	411,808	414,030	157,971	6,138,653
当期変動額					
新株の発行 (新株予約権の行使)					11,087
剰余金の配当					△25,154
親会社株主に帰属する当期純利益					672,481
自己株式の取得					△60
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	△91,827	269,275	177,448	△25,884	151,564
当期変動額合計	△91,827	269,275	177,448	△25,884	809,918
当期末残高	△89,605	681,084	591,479	132,086	6,948,572

当連結会計年度 (自 令和5年4月1日 至 令和6年3月31日)

(単位: 千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	557,444	547,444	5,176,467	△56,349	6,225,006
当期変動額					
新株の発行 (新株予約権の行使)					—
剰余金の配当			△25,202		△25,202
親会社株主に帰属する当期純利益			593,404		593,404
自己株式の取得					—
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	—	—	568,201	—	568,201
当期末残高	557,444	547,444	5,744,669	△56,349	6,793,207

	その他の包括利益累計額			新株予約権	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	△89,605	681,084	591,479	132,086	6,948,572
当期変動額					
新株の発行 (新株予約権の行使)					—
剰余金の配当					△25,202
親会社株主に帰属する当期純利益					593,404
自己株式の取得					—
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	33,272	539,327	572,600	△4,940	567,660
当期変動額合計	33,272	539,327	572,600	△4,940	1,135,861
当期末残高	△56,332	1,220,412	1,164,079	127,146	8,084,433

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 令和4年4月 1日 至 令和5年3月31日)	当連結会計年度 (自 令和5年4月 1日 至 令和6年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	962,751	846,948
減価償却費	76,806	95,271
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△379	△161
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△66,780	△9,334
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	5,710	6,372
受取利息及び受取配当金	△79,227	△154,662
支払利息	6,605	8,080
投資事業組合運用損益 (△は益)	65	2,930
為替差損益 (△は益)	△44,902	△137,854
売上債権及び契約資産の増減額 (△は増加)	21,320	81,342
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△117,800	65,438
仕入債務の増減額 (△は減少)	13,565	△94,448
前渡金の増減額 (△は増加)	21,379	△3,019
前払費用の増減額 (△は増加)	△474,707	△87,743
前受金の増減額 (△は減少)	△1,615	△2,874
契約負債の増減額 (△は減少)	△36,830	120,543
返金負債の増減額 (△は減少)	87,431	△32,210
その他	30,703	33,919
小計	404,095	738,535
利息及び配当金の受取額	72,646	156,307
利息の支払額	△6,605	△8,080
法人税等の支払額	△419,721	△92,377
営業活動によるキャッシュ・フロー	50,416	794,384
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	—	△722,000
有形固定資産の取得による支出	△219,979	△403,849
無形固定資産の取得による支出	△19,176	△32,001
投資有価証券の取得による支出	△775,684	—
投資有価証券の償還による収入	—	112,600
その他	△221	2,083
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,015,062	△1,043,166
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	314,210	△117,210
長期借入れによる収入	—	262,690
長期借入金の返済による支出	△23,307	△30,000
株式の発行による収入	6,790	—
自己株式の取得による支出	△60	—
リース債務の返済による支出	△3,544	△11,485
配当金の支払額	△25,069	△25,286
財務活動によるキャッシュ・フロー	269,017	78,707
現金及び現金同等物に係る換算差額	280,657	419,492
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△414,970	249,417
現金及び現金同等物の期首残高	4,768,581	4,353,611
現金及び現金同等物の期末残高	4,353,611	4,603,028

(5) 連結財務諸表に関する注記事項  
(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、コンピュータソフトウェアの開発・製造・販売を主な事業とし、連結子会社である株式会社楽しみチームでは学生寮事業を展開しております。

当社グループは、これらを基礎とした事業別のセグメントから構成されており、「エンターテインメント事業」、「学生寮・その他事業」の2つを報告セグメントとしております。

なお、各報告セグメントに含まれる主要品目は、以下のとおりであります。

事業区分	主要製品
エンターテインメント事業	家庭用ゲームソフト、関連グッズ、スマートフォン用コンテンツ、著作権の使用許諾収入、他社タイトルの受託開発
学生寮・その他事業	学生寮の運営、上記以外

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報  
前連結会計年度 (自 令和4年4月1日 至 令和5年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	エンターテイン メント事業	学生寮・その他 事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,763,069	70,736	4,833,806	—	4,833,806
セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—
計	4,763,069	70,736	4,833,806	—	4,833,806
セグメント利益又は損失 (△)	1,212,893	△25,739	1,187,153	△441,619	745,533
セグメント資産	5,735,928	1,725,374	7,461,302	1,918,325	9,379,628
その他の項目					
減価償却費	19,304	34,322	53,627	23,179	76,806
有形固定資産及び無形固定資産 の増加額	85,189	87,894	173,084	94,674	267,759

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益又は損失 (△) の調整額△441,619千円は、全て全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- (2) セグメント資産の調整額1,918,325千円は、当社及び一部の連結子会社の運用資金 (現金及び預金)、長期投資資金 (投資有価証券)、管理部門に係わるものであります。
- (3) その他の項目の減価償却費及び有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、当社管理部門に係わるものであります。

2. セグメント利益又は損失 (△) は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度 (自 令和5年4月1日 至 令和6年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	エンターテイン メント事業	学生寮・その他 事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,254,645	85,322	5,339,967	—	5,339,967
セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—
計	5,254,645	85,322	5,339,967	—	5,339,967
セグメント利益又は損失 (△)	930,780	△32,422	898,357	△497,022	401,335
セグメント資産	6,751,895	869,717	7,621,612	3,196,607	10,818,220
その他の項目					
減価償却費	29,584	42,576	72,161	23,109	95,271
有形固定資産及び無形固定資産 の増加額	65,562	164,474	230,036	211,089	441,125

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益又は損失 (△) の調整額△497,022千円は、全て全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- (2) セグメント資産の調整額3,196,607千円は、当社及び一部の連結子会社の運用資金 (現金及び預金)、長期投資資金 (投資有価証券)、管理部門に係わるものであります。
- (3) その他の項目の減価償却費及び有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、当社管理部門に係わるものであります。

2. セグメント利益又は損失 (△) は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 【関連情報】

前連結会計年度（自 令和4年4月1日 至 令和5年3月31日）

## 1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品の区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

## 2. 地域ごとの情報

## (1) 売上高

(単位：千円)

日本	米国	欧州	アジア	合計
1,249,011	2,725,618	801,410	57,766	4,833,806

(注) 1. 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

2. 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1) 欧州・・・イギリス、フランス

(2) アジア・・・ベトナム、韓国、中国

## (2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

## 3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高
KOEI TECMO AMERICA CORPORATION	866,508
任天堂株式会社	650,826
株式会社セガゲームス	512,774

当連結会計年度（自 令和5年4月1日 至 令和6年3月31日）

## 1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品の区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

## 2. 地域ごとの情報

## (1) 売上高

(単位：千円)

日本	米国	欧州	アジア	その他	合計
1,483,397	3,142,284	672,794	28,284	13,207	5,339,967

(注) 1. 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

2. 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1) 欧州・・・イギリス、フランス

(2) アジア・・・ベトナム、韓国、中国

(3) その他・・・オーストラリア

## (2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。



## 3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高
KOEI TECMO AMERICA CORPORATION	972,711
任天堂株式会社	598,051

## 【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自 令和4年4月1日 至 令和5年3月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 令和5年4月1日 至 令和6年3月31日）

該当事項はありません。

## 【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度（自 令和4年4月1日 至 令和5年3月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 令和5年4月1日 至 令和6年3月31日）

該当事項はありません。

## 【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度（自 令和4年4月1日 至 令和5年3月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 令和5年4月1日 至 令和6年3月31日）

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

項目	前連結会計年度 (自 令和4年4月 1日 至 令和5年3月31日)	当連結会計年度 (自 令和5年4月 1日 至 令和6年3月31日)
1株当たり純資産額	1,352円33銭	1,578円66銭
1株当たり当期純利益金額	133円50銭	117円73銭
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額	133円16銭	117円54銭

(注) 1株当たり当期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 令和4年4月 1日 至 令和5年3月31日)	当連結会計年度 (自 令和5年4月 1日 至 令和6年3月31日)
1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益金額 (千円)	672,481	593,404
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益金額 (千円)	672,481	593,404
普通株式の期中平均株式数 (株)	5,037,334	5,040,544
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額 (千円)	—	—
普通株式増加数 (株)	12,972	8,001
(うち新株予約権)	12,972	8,001
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定に含まれなかった潜在株式の概要	新株予約権1種類 (新株予約権の数1,142個 (普通株式114,200株))	新株予約権1種類 (新株予約権の数1,096個 (普通株式109,600株))

(重要な後発事象)  
該当事項はありません。

#### 4. その他

(1) 役員の異動  
該当事項はありません。

(2) その他  
該当事項はありません。